



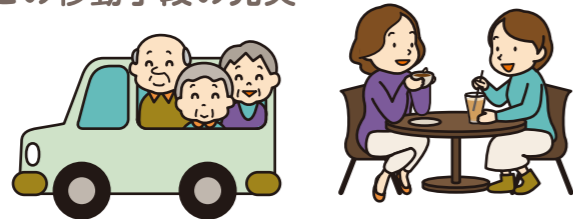
私たちが描く地区の未来図

『ご近所が仲良く声をかけ合い、安心して暮らせるまち』

目標と主な取組

目標 A 子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる場づくり

- ④ 「誰でも」「気軽に」「ひとりでも」「いつでも」「より身近な地域に」参加できる居場所づくり(例えば、お散歩時や買い物帰りなど、ちょっと座って話ができるようなちょっとしたベンチ「ちょこっとベンチ(仮称)」を地域に広げるなど。)
- ④ 居場所づくりにより交流を生み出し、困りごとを相談しやすい地域にしていく
- ④ 世代を超えて交流が進む地域づくり
- ④ 送迎ボランティアやコミュニティーバス、タクシーなどの移動手段の充実



▲南希の森で大活躍のイスとベンチ

目標 B 隣近所で声をかけ合える「ご近助」付き合い

- ④ 「おたずね隊(仮称)」など、地域住民を特定せず定期的に訪問し、安否確認するとともに困りごとを把握する体制づくり
- ④ 一人も取りこぼしのない体制づくり
- ④ 向こう三軒両隣を基本とした顔の見える「ご近助」の関係づくり
- ④ 買い物支援の継続、ちょこっと応援団の充実



▲移動スーパー コロナ禍での買い物



▲ちょこっと応援団 包丁研ぎ

目標 C 一人ひとりの思いを活かし、参加できる機会づくり

- ④ 自分の思いが活かされる、活かしていると実感できるような場面づくり
- ④ 特技や趣味、好きなことが活かせる機会づくり
- ④ 地域活動の周知、活動の見える化
- ④ 自発的な活動であっても、地域の中で認め合い、感謝し合う関係づくり
- ④ 自ら進んで参加したくなる、魅力ある地域活動



▲クリーン活動 様々な方の参加

目標 D 大きな災害時にも対応できる、隣近所の顔の見える助け合いの体制づくり

- ④ 平時からのネットワーク構築のため、自治会「自主防災組織」の充実と連携
- ④ 「防災部会」による防災活動を通じた啓発の充実
- ④ 「災害時要援護者マップ」の活用と啓発
- ④ 一人も取りこぼしのない体制づくり(再掲)



◀オレンジリボン



▲防災フェスタ

希望が丘南地区・希望が丘地区で連携して行っている2つの活動の紹介

K・Kネットの会



ふれあいルームぽけ

地域の子育て支援として、親子の居場所づくりや2世代交流を目的とした「K・K ネット祭り」等を行い、安心して子育てできるまちづくりを目指す活動。

きぼうファーム



じゃがいも掘り

障がい児・者の余暇支援や障がい理解講座等を開催し、誰もが住みやすいまちづくりを目指す活動。

推進体制

希望が丘南地区支えあい連絡会… 希望が丘南地区連合自治会、希望が丘南地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員協議会、保健活動推進委員会、消費生活推進委員会、環境事業推進委員連絡協議会、家庭防災員連絡協議会、地域防災拠点運営委員会、子ども会育成連絡協議会、PTA、各種ボランティア団体